



医薬品リスク管理計画
(RMP)

イスツリサ錠による
クッシング症候群の治療を
受けられるみなさまへ

監修:医療法人社団 盛翔会 浜松北病院
学術顧問 沖隆 先生



Cushing's Syndrome Overview

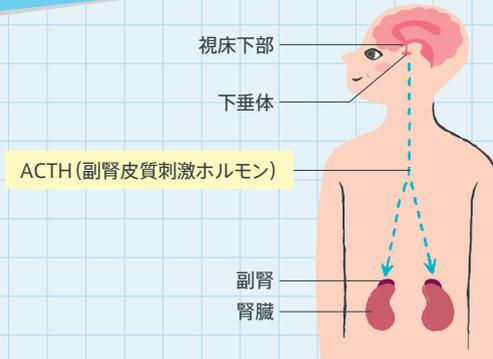
クッシング症候群について

クッシング症候群とは、副腎皮質で合成・分泌されるホルモン「コルチゾール」が慢性的に、過剰に作用することで、全身にさまざまな症状が現れる疾患の総称です。



コルチゾールとは

コルチゾールは生命の維持に不可欠なホルモンです。脳下垂体の視床下部からの指令を受け、腎臓の上にある副腎で合成・分泌されます。



視床下部の下垂体からACTH (副腎皮質刺激ホルモン) が分泌



ACTHが副腎皮質に作用してコルチゾールを合成・分泌



コルチゾールが全身でさまざまなはたらきに関与

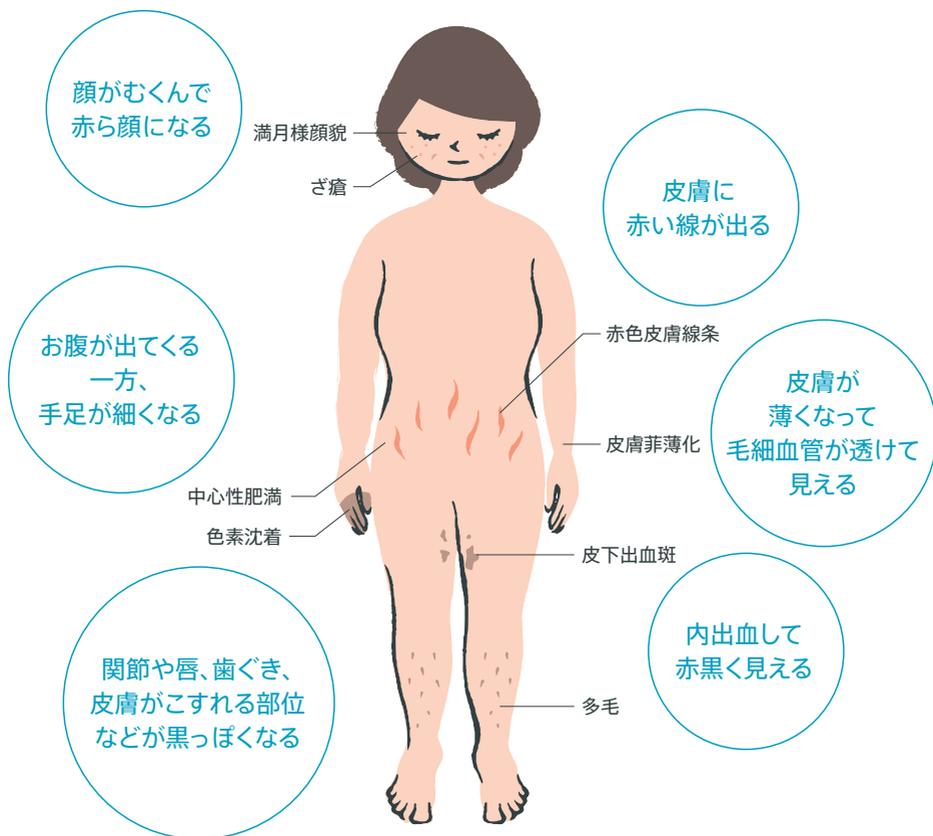
- 炭水化物、脂質、タンパク質といった栄養素や水、電解質※の代謝
- 骨を維持するサイクル、免疫、血圧の調節 など

※ ナトリウム、カリウムなど、体液中で溶けてイオン化し、体内の水分量の調整や筋肉の動きをサポートするなどはたらきを持ったミネラルのこと。

クッシング症候群は主に、**脳下垂体などに腫瘍ができて起こる場合と、副腎そのものの異常(腫瘍など)が原因になる場合**があります。

症状

主な症状には、満月様顔貌、ざ瘡(にきび)、中心性肥満、赤色皮膚線条、皮膚の菲薄化および皮下出血斑、色素沈着、多毛、筋力低下などがあります。



また、高血圧や糖尿病、脂質異常症といった生活習慣病や、骨粗しょう症、月経不順、うつ傾向、感染症などが起こりやすくなります。



Treatment with Isturisa

イストリサ錠による治療

イストリサ錠は、コルチゾールの合成を阻害し、
高くなっている体内のコルチゾール濃度を低下させます。

種類

イストリサ錠には1mg錠と5mg錠の2種類があります。

1mg錠			5mg錠		
					
薄い黄色のフィルムコーティング錠			黄色のフィルムコーティング錠		

服用する前の注意

次の条件に当てはまる方は、イストリサ錠を服用できません。

- イストリサ錠に含まれる成分で過敏症の症状が出たことがある方
- 副腎皮質機能不全と診断されている方
- 妊娠している、またはその可能性がある女性

次の条件に当てはまる方は、主治医・薬剤師にお伝えください。

- 心機能が低下している方
- 肝機能が低下している方
- 授乳中の方
- 高血圧の方
- 妊娠を希望されている方
- その他の薬やサプリを服用されている方

治療中に、これらの条件に当てはまるようになった場合は必ず、主治医・薬剤師にお伝えください。

イストリサ錠を処方された医療機関以外を受診される際は、医師および薬剤師にイストリサ錠の服用中であることをお伝えください。

服用方法

イソツリサ錠は、1日2回※、決められた用量を服用します。
コップ1杯程度の水またはぬるま湯でお飲みください。

※ 患者さんによっては1日1回から開始することがあります

服用する量

1回1mgを1日2回から服用を開始し、その後は患者さんの状態に応じて、適宜増減します。

なお、患者さんによっては通常よりも低い用量から服用を開始することがあります。

1回に服用するイソツリサ錠の用量は、クッシング症候群の症状(P3参照)の有無やその程度、血液中または尿中のコルチゾール量、服用に伴って起こりうる副作用(P6参照)の有無、体調の変化などを考慮して、**医師が決定**します。

服用する時間帯

医師の指示に従い、なるべく毎日、同じ時間帯に服用してください。

なお、服用のタイミングに、食前、食後、食間などの決まりはありませんが、1日2回服用の方の場合、12時間程度、間をあけて服用してください。

服用し忘れた場合

次の回から1回分の量で服用を再開してください。

1回に服用する用量を必ず守ってください。
絶対に、一度に2回分を飲まないでください。

間違えて2回分を飲んでしまった場合は、
すぐに医師に連絡のうえ、速やかに受診してください。





Side effects of Isturisa

イスツリサ錠の服用で 起こりうる副作用

イスツリサ錠の服用中に起こりうる副作用に、低コルチゾール血症とQT延長※があります。

これらの副作用が起きた場合、次のような自覚症状が現れます。 ※心電図の異常



吐き気・嘔吐



疲れやすい・倦怠感



腹痛



食欲不振



めまい



眠気



動悸

低血糖、低血圧などが現れることもあります。

これらの症状は、特徴的なものではなく、日常生活の中で、他の原因によっても起こる可能性がある症状です。

しかし、症状が重くなった場合には、病院での処置が必要になることもあります。これらの症状や、ちょっとした体調の変化・気分の変化を感じた場合に、「大したことはない」と自己判断せず、主治医または薬剤師へご連絡ください。

また、イスツリサ錠の服用中には低カリウム血症により、
下記のような症状が現れることがあります。



手足のだるさ



こわばり



力がぬける感じ



筋肉痛



呼吸困難

この他に、むくみ、高血圧、体重増加、
女性の場合は多毛症、ざ瘡などの症状が現れることがあります。

イスツリサ錠の服用中に低カリウム血症が認められた場合、カリウムを補充する
治療が行われます。

それでも症状が改善しない場合、イスツリサ錠の服用量を減らしたり、服用を中止
したりすることがあります。



お問い合わせ先